

# 未来のコモンセンスをつくる研究大学の実現 へ向けた取組みと今後の展望

第7回 大学研究力強化部会

「私立大学が進める研究力強化の取組と今後の展開・社会変革をけん引するリーダー育成」

Keio University

Tokyo, Japan

---

2026年 4月 22日

慶應義塾長 伊藤 公平





- 一身独立して、一国独立す(独立自尊)
- 「国を支えて、国を頼らず  
(Ask not what your country can do for you,  
ask what you can do for your country)」
- 自由は天から与えられるもの、よって政府の仕事とは、  
「ただその事を妨げずして適宜に行なわれしめ、  
人心の向かうところを察してこれを保護するのみ。  
ゆえに文明の事を行なう者は私立の人民にして、その文明を護する者は政府なり。」
- 「西洋諸国の史類を案ずるに、商売工業の道一として政府の創造せしものなし、  
その本は皆中等の地位にある学者の心匠に成りしもののみ。」
- 「実学」の推進:実証科学に基づく学問(サイアンス)
- 「文明の利器」の発明・開発と活用:産業革命時代の蒸気船車・郵便・電信・印刷によるインフレーション革命
- 「進まざるは必ず退き、退かざるは必ず進む」
- 「人たるものはただ一身一家の衣食を給し、もってみずから満足すべからず、人の天性にはなおこれよりも高き約束あるものなれば、人間交際の仲間に入り、その仲間たる身分をもって世のために勉むるところなかるべからず」



慶應義塾は単に一所の学塾として  
自から甘んずるを得ず。

其目的は我日本国中に於ける

気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、

之を實際にしては居家、処世、

立国の本旨を明にして、

之を口に言ふのみにあらず、

躬行実践、以て全社会の

先導者たらんことを欲するものなり



「福澤諭吉ウエーランド講述の図」  
(画 安田鞞彦)



## 未来のコモンセンスをつくる研究大学

KING'S  
College  
LONDON

SOAS  
University of London

WPI、COI-NEXT拠点の発展を基軸に、  
国内外の大学と連携し  
新たな研究拠点を形成

University of Cologne

UAEU

연세대학교  
YONSEI UNIVERSITY



OIST

### 学問の社会実装



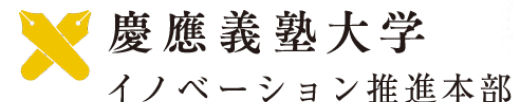
- 学問で社会を豊かにする
- 社会からの学問への信頼を高める

複数の研究拠点が融合して  
新領域を開拓し、新産業の創出により  
豊かな社会を実現する

Northwestern  
University

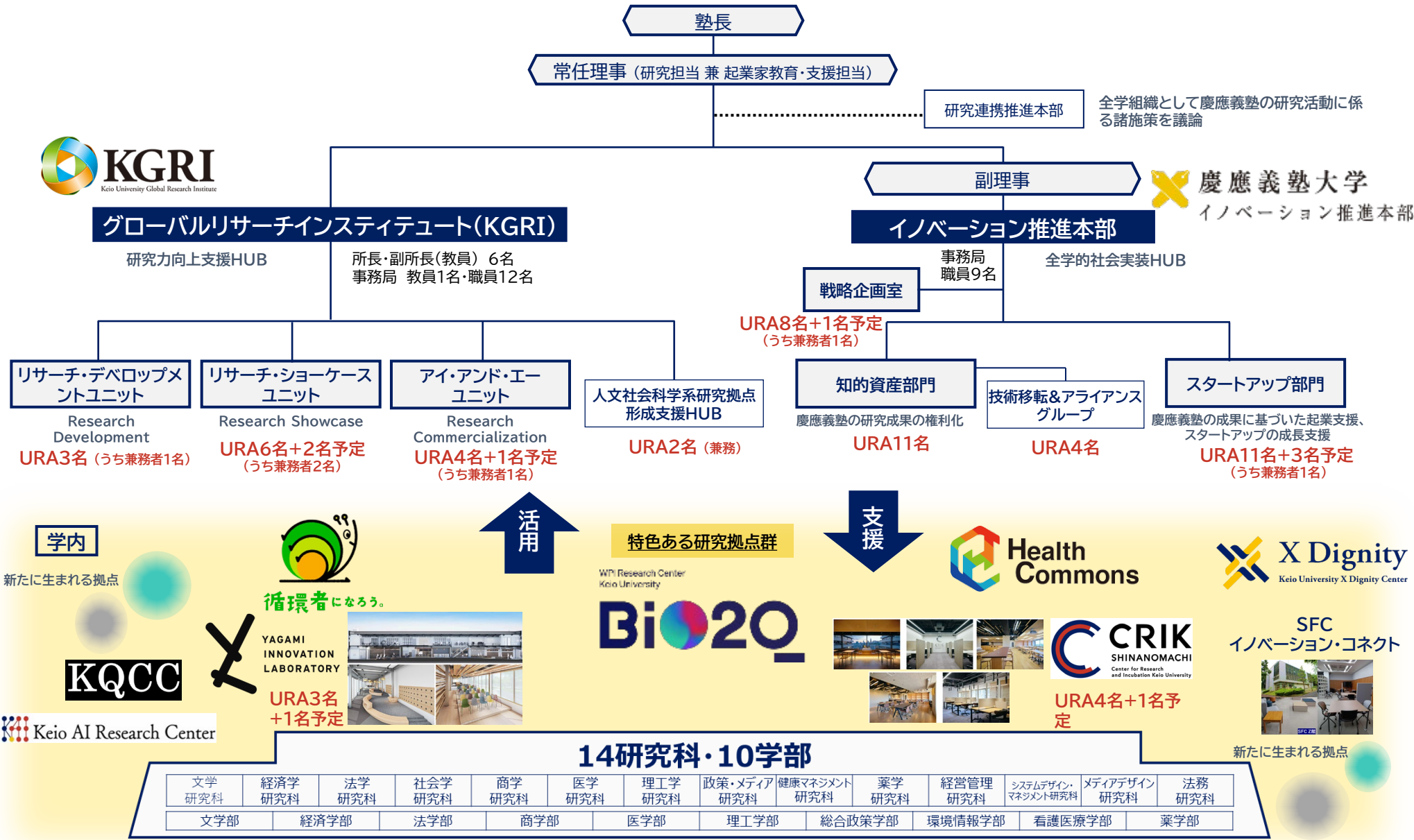
Carnegie  
Mellon  
University

### 起業家・実業家の創生



- 新産業を創出し、経済的発展を促進する
- 豊かで幸せな社会を実現する

# 領域横断研究、課題解決、社会実装までを支援する体制



# 民間資金による研究プロジェクト



慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート(KGRI)内には  
現在40超の分野融合研究プロジェクト、センターが設置。  
→慶應義塾内の学部・研究科を跨いだ研究者により新領域研究を展開

百寿総合研究センター

全国超百寿者研究の展開

創薬・先端医療

K-MAIC  
メディカルAIセンター

AIによる画像診断支援システム  
の開発と導入ほか  
多様なAIホスピタルプロジェクト

サイバー文明研究センター

CYBER  
CIVILIZATION  
RESEARCH  
CENTER

デジタル・サイバー  
セキュリティ

慶應AIセンター

次世代AI開発拠点  
慶應AIセンター

AI

量子コンピューティングセンター

量子

X Dignityセンター

X Dignity  
Keio University X Dignity Center

タイムリーな社会貢献を目指すセンターの新設

戦略構想センター：  
戦略研究、国際情勢分析、政策提言を行う  
新しい知の拠点を形成する大学発戦略シンクタンク



Keio STAR:  
(Sustainable and Transformative Actions for Regeneration)  
持続可能で魅力的な未来の実現を目指し、サステナビリティをグローバルに実践するアクションタンク



細谷 雄一  
(法学部)



廣瀬 陽子  
(総合政策学部)



田中 浩一郎  
(政策・メディア研究科)



鶴岡 路人  
(総合政策学部)



森田 香菜子  
(経済学部)



蟹江 憲史  
(政策・メディア研究科)



河端 瑞貴(経  
済学部)



芦澤 美智子  
(経営管理研究科)

# 公的資金による研究プロジェクト



WPI

## ヒト多臓器円環メカニズムの解明による新たな生命科学の確立

創薬・先端医療

量子

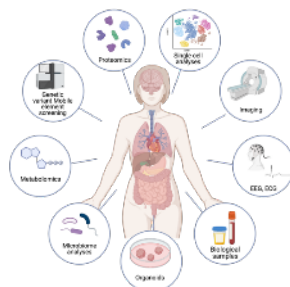


WPI Research Center  
Keio University

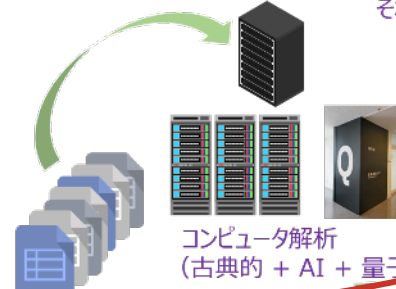
### BiO2Q

Human Biology  
Microbiome Quantum  
Research Center

ヒト生物学とコンピュータ科学の円環システム



Multi-omics  
生体分子構造情報 + 臨床情報



コンピュータ解析  
(古典的 + AI + 量子)

理論・仮説の発見を劇的加速・統合し、  
それらを検証する円環形成

- ・分子経路
- ・疾患発症機序
- ・多臓器連環
- ・自己言及的構造
- ・恒常性
- ・受容体-リガンド
- 代謝物構造
- ・環境-生体応答
- ...

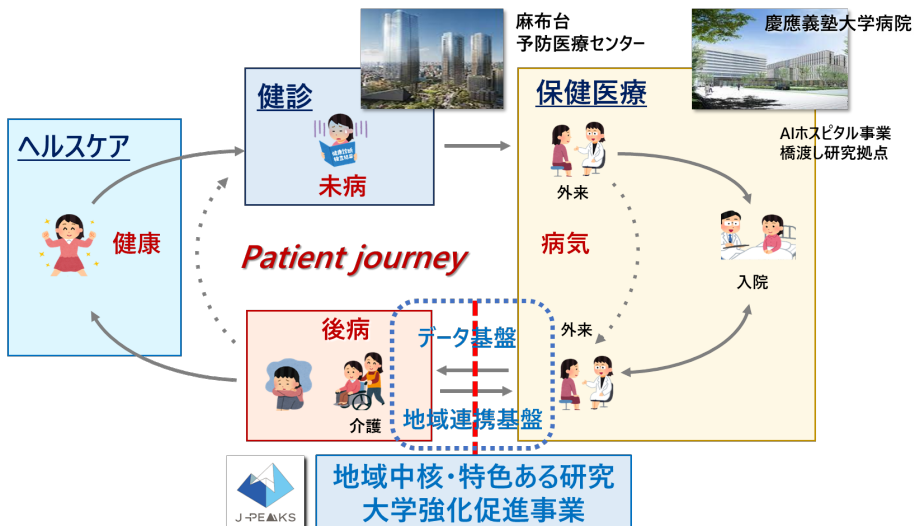
## 情報循環型の未来医療・ヘルスケアの実現



Health  
Commons

COI-NEXT

医療・介護・ヘルスケアの現状と課題



## 資源循環型都市デザインによるまちづくり



循環者になろう。

COI-NEXT



# 公的資金による研究プロジェクト - WPI-Bio2Q -



## 創薬・先端医療

17分野における価値創出を可能にする計算インフラ

## 量子

## Supercomputer



Hur Mic Research Center

Clinical Research Core Hospital

Keio Univ Hospital

Clinical & Translational Research Center

CNS development and regeneration

Pharmaceutical Sciences

Preventive medicine

Health Commons Center (COI-NEXT)

## Neuroscience

Y. Minagawa  
CREST, JST Specially Promoted Res., Scientific Res.(S), KAKENHI

M. Yuzaki  
KAKENHI CREST, JST

Hematology

K.Kataoka

Gastroenterology

T. Kanai

Organoid

T. Sato  
Scientific Res.(S), KAKENHI P-CREATE, Regenerative Med. Pj., Aging and Longevity, AMED Moonshot, CREST, JST

Supercentenarian Medical Research

Y. Arai

## Immunology

K. Kosaki

K. Ishigaki

## Genome biology

M. Nakamura

K. Honda  
Specially Promoted Res., KAKENHI Next-Gen Treatment & Diagnosis, AMED

K. Atarashi

## Microbiome

D. Mende

## Computational Biology

M. Arita  
ERATO, JST Scientific Res.(A), KAKENHI

M. Suematsu

## Metabolomics

Y. Sugiura

E. Sasaki  
Humanized animal models

## Biology

Hur Mic Research Center

## Quantum Computing

N. Yamamoto  
Q-LEAP, JST

S. Tanaka

T. Koyama

## AI

M. Imai

Y. Shinozawa

S. Kurihara  
Next-Gen AI, NEDO

T. Tanabe

S. Nagayama

M. Takeoka  
CREST, JST

R. Van Meter

M. Kondo  
CREST, JST FUGAKU Next Team Leader @RIKEN B-CCS

## Semiconductor

M. Tada  
JST

H. Matsutani  
CREST, JST

K. Sugiura  
Moonshot, CREST, JST Next-Gen AI, NEDO

S. Murata

H. Watanabe

M. Tada  
JST

H. Amano  
CREST, JST

## AI・半導体

Expected a ripple effect throughout Keio's advanced research

## Computing

# 新産業創出(スタートアップ創出)



## 起業支援、発明・発見の社会実装支援と学問のシーズに基づくスタートアップ

**KII** KEIO INNOVATION INITIATIVE

### 義塾ベンチャーキャピタル

- ◆ 運用総額: 350億円
- ◆ 投資先: 73社 (2025年12月時点)
- ◆ インパクトファンド 新規組成 (大学VC初)
- ◆ 慶應発スタートアップのIPO事例:
  - ・ 坪田ラボ (2022年)
  - ・ ケイファーマ (2023年)
  - ・ Heartseed (2024年)
  - ・ Synspective (2024年)



慶應義塾大学  
イノベーション推進本部  
Keio University Office of Innovation and Entrepreneurship

### スタートアップ部門

- ◆ 実務家教員33名
- ◆ 慶應スタートアップインキュベーションプログラム (KSIP)の全学展開
- ◆ 全学インキュベーション施設(CRIK信濃町)の開設
- ◆ 全学アントレプレナーシップ講座開設
- ◆ インパクト評価人材育成プログラム開設
- ◆ 大学発医療系スタートアップ支援プログラム (AMED SU支援プログラム)開始
- ◆ 慶應版EIR(客員起業家)モデルの始動
- ◆ 事業加速のための連携パートナー制度 (ビズリーチ社、フォースタートアップス社、AWS ジャパン社、三井住友銀行、あずさ監査法人他)



慶應義塾大学発ベンチャー企業数

**377** 社

全国の大学で **3** 位

経済産業省 令和6年度  
大学発ベンチャー実態等調査

---

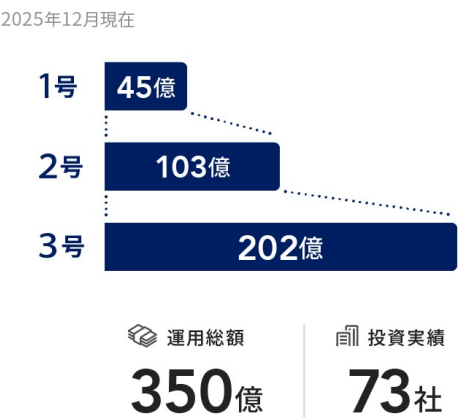
慶應義塾大学発スタートアップの資金調達額

**174** 億円

全国の大学で **3** 位

※スピード、「2024年 Japan Startup Finance -国内スタートアップ資金調達動向の決定版-」

### ファンドサイズ

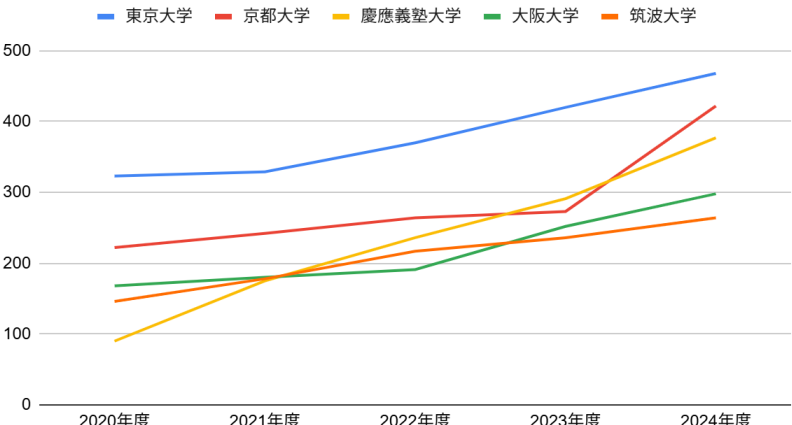


### 投資先の成果

2025年12月現在

NEXTユニコーン  
上位35社に  
5社がランクイン

### 大学別ベンチャー企業数





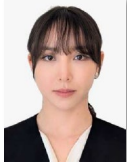
## 潮田リサーチフェロー

### ★ 設立目的

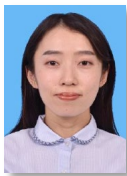
潮田記念基金により優秀な若手研究者を助教として採用し、3年間 自由な発想の下、研究活動に集中することにより、未来のコモンセンスを創造する先導的研究者を育成する

### ★ 概要

- 想像力に富み、進取の気性を持った若手研究者に『慶應義塾潮田リサーチフェロー』の称号付与
- 未来知の創出とその社会還元を積極的に推進することで、未来を担う若手人材を育成
- 総合大学としての慶應義塾の利点を活かし、広く人材を募集



服部 エリーン 彩矢 文学部・2025年10月就任  
(2025年3月 名古屋大学 博士(情報学))  
研究テーマ:創造性の認知についての心理学的研究



加反 真帆 経済学部・2026年4月就任  
(2024年3月 京都大学 博士(地域研究))  
研究テーマ:熱帯泥炭地保全ガバナンス



高田 咲良 2026年4月就任  
(2025年3月 慶應義塾大学 博士(理学))  
研究テーマ:人工細胞で探る細胞の時空間秩序原理とその応用

## 慶應アントレプレナーシップ教育

# Keio Entrepreneurship

志と知を実装する。

Turning Purpose and Knowledge into Impact

### 正規科目 / Regular course

#### 2026年度 春学期



矢上キャンパス

開講日:2026年4月~2026年7月



三田キャンパス

開講日:2026年4月~7月



日吉キャンパス

開講日:2026年4月~2026年7月



超満員の講義風景

日吉共通アントレプレナーシップ基礎講座  
2026年4月9日

# Highly Cited Researchers



© 2026 Clarivate

## Highly Cited Researchers 2025

Celebrating researchers with significant and broad influence

- 1 University of Tokyo
- 2 RIKEN
- 3 Kyoto University
- 4 Keio University**
- 5 Tohoku University
- 6 National Institute for Materials Science
- 6 Osaka University
- 8 Kyushu University
- 8 Nagoya University
- 8 National Inst. for Environmental Studies
- 8 National Inst. of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)



吉村昭彦名誉教授  
(医学部)



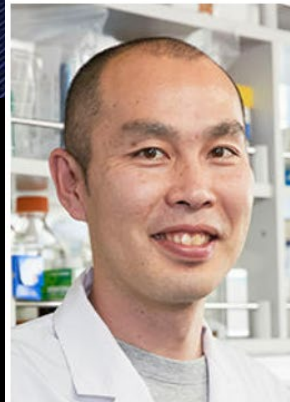
金井隆典教授  
(医学部, Bio2Q)



本田賢也教授  
(医学部, Bio2Q)



佐藤俊朗教授  
(医学部, Bio2Q)



新幸二訪問教授  
(医学部, Bio2Q)



長谷耕二教授  
(薬学部, Bio2Q)

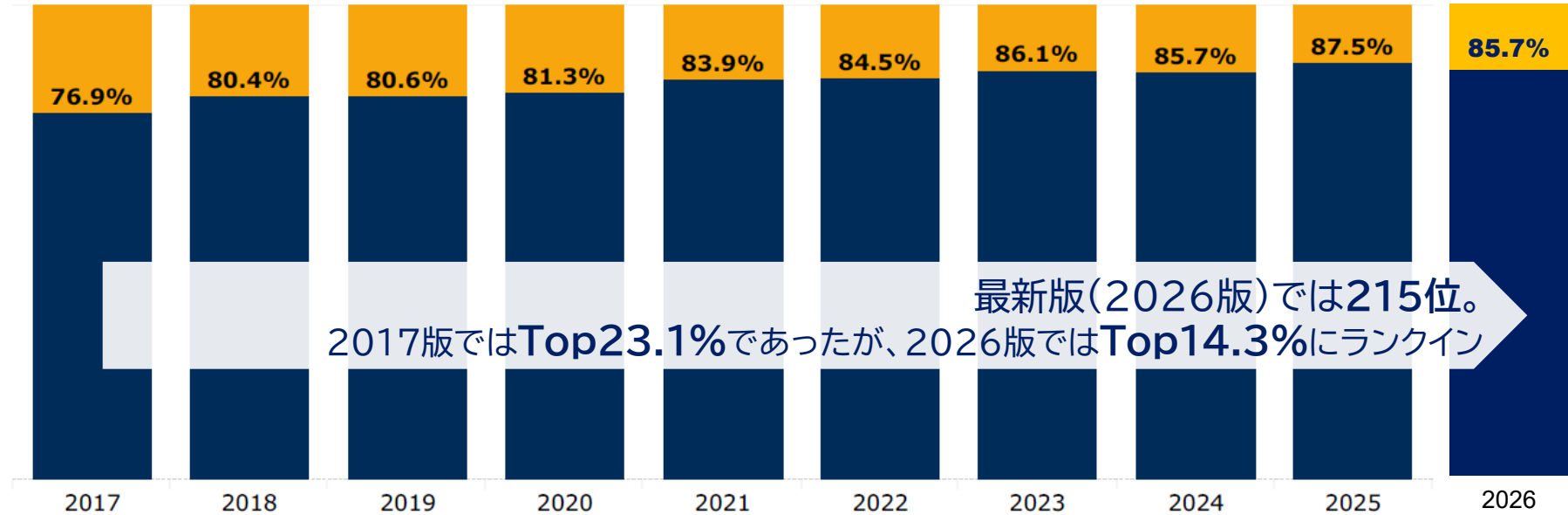


メンデ, ダニエル特任教授  
(Bio2Q)



## ■ QS世界大学ランキング2026

Percentage of institutions surpassed in terms of rank



2017版ではTop23.1%であったが、2026版ではTop14.3%にランクイン  
 最新版(2026版)では215位。

## ■ QS世界大学分野別ランキング2026

55の個別分野のうち、以下の8分野が世界150位以内にランクイン

- 古典学・古代史 (Classics & Ancient History) …… 46位
- 現代語学 (Modern Languages) …… 83位
- 経済学・計量経済学 (Economics & Econometrics) …… 99位
- ビジネス・経営学 (Business & Management Studies) …… 138位
- 法学 (Law & Legal Studies) …… 101-150位
- 政治学・国際関係学 (Politics & International Studies) …… 101-150位
- 会計・財務学 (Accounting & Finance) …… 101-150位
- 地理学 (Geography) …… 101-150位

社会科学・人文学の広範な分野  
 で世界150位圏内を維持し、  
 国内私大トップの研究力を堅持

# オピニオンリーダーの訪塾(研究者と国際社会の繋がり)



2023年6月  
サム・アルトマン  
OpenAI CEO



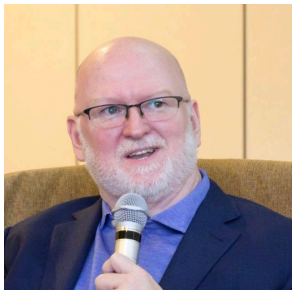
2024年5月  
アンワル・イブラヒム  
マレーシア首相



2024年6月  
赤根智子  
国際刑事裁判所(ICC) 所長



2024年11月  
デミス・ハサビス  
Google DeepMind CEO



2024年11月  
ケビン・スコット  
マイクロソフトCTO



2024年12月  
ウルフ・クリステション  
スウェーデン首相



2025年3月  
ヘブライ大学  
ユヴァル・ノア・ハラリ教授



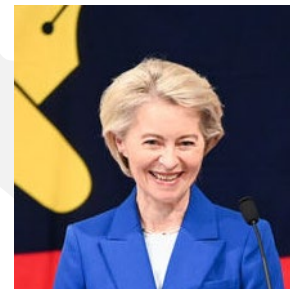
2025年4月  
マルク・ルッテ  
NATO事務総長



2025年5月  
オードリー・タン  
元台湾デジタル担当大臣



2025年4月  
ディック・スプーフ  
オランダ首相

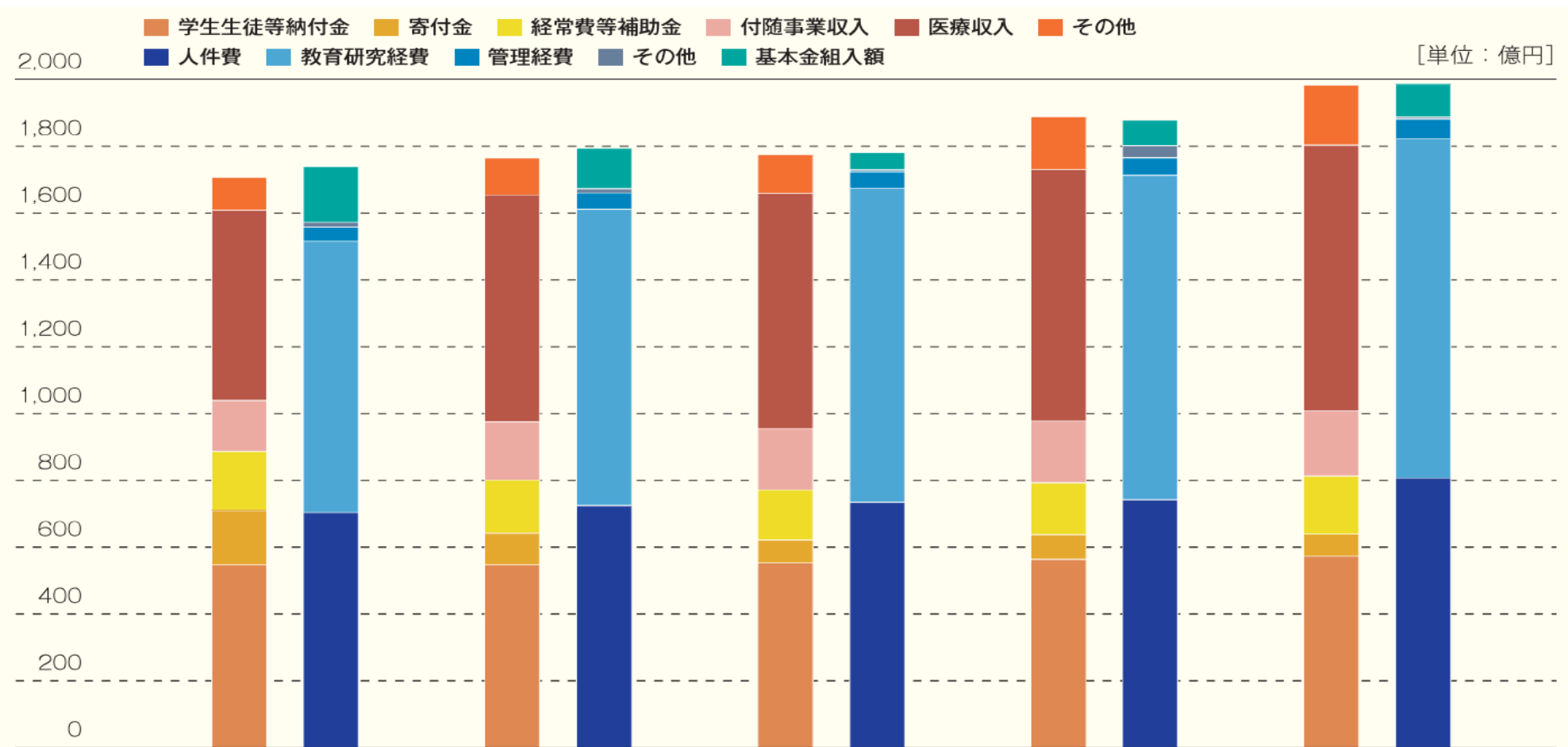


2025年7月  
ウルズラ・フォン・デア・ライエン  
欧州委員会委員長



2025年9月  
アンドレイ・プレンコビッチ  
クロアチア首相

# 経営 - 事業活動収支の推移(2020-2024)

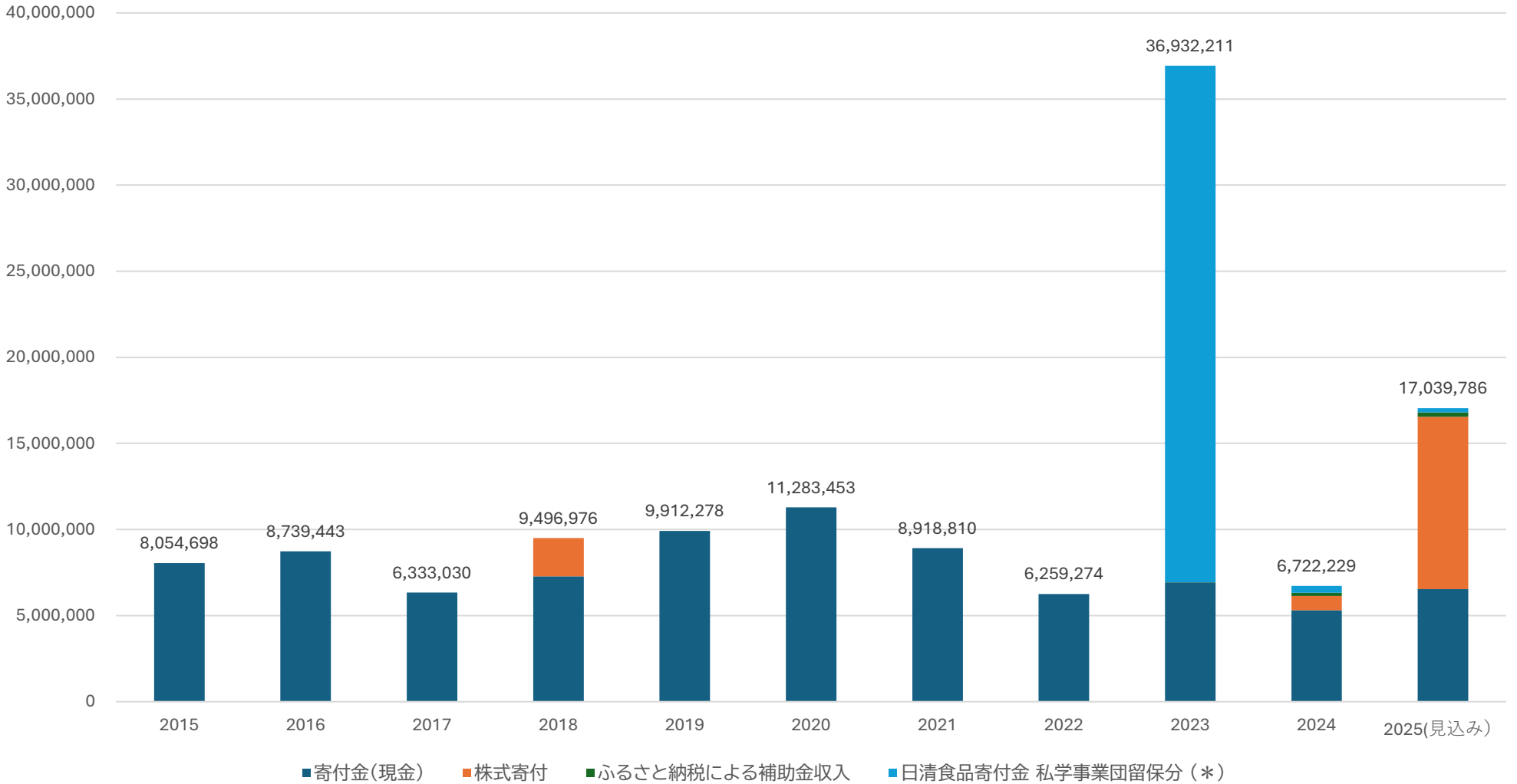


|                   | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度  | 2024年度  |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 基本金組入前<br>当年度収支差額 | 13,586  | 9,275   | 4,586   | 8,674   | 9,603   |
| 事業活動収入計           | 170,711 | 176,529 | 177,495 | 188,797 | 198,292 |
| 事業活動支出計           | 157,125 | 167,254 | 172,909 | 180,124 | 188,689 |

# 経営 - 寄付金収入の推移



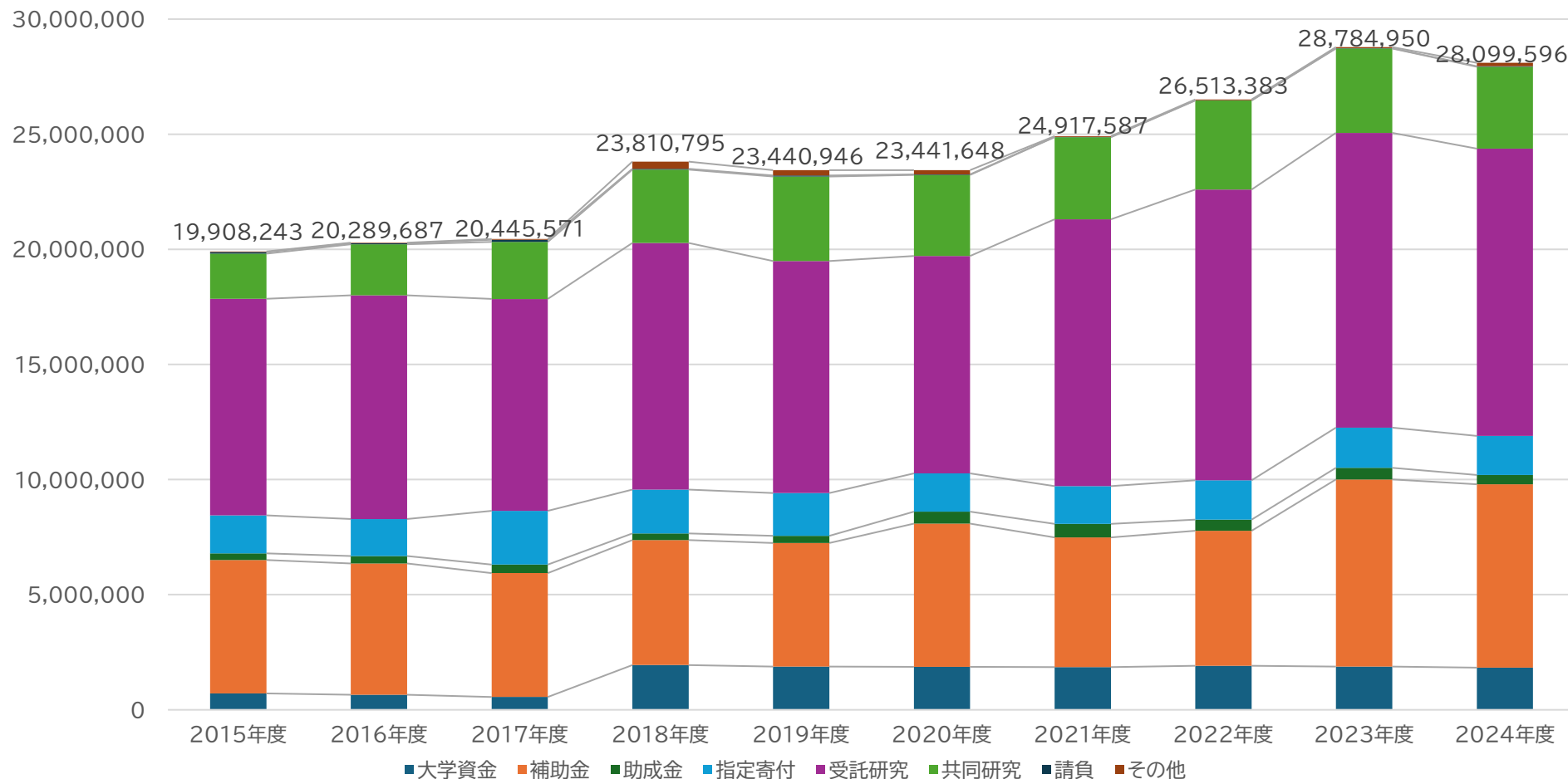
■ 過去11年間の寄付金収入種類別推移 (単位:千円)



\*日清食品社からの受配者指定寄付金について、①と②の差額(①-②)を意味する(②の額は「寄付金(現金)」として計上):  
 ①私学事業団送金額 2023年度 30,000,000千円, 2024年度 480,000千円, 2025年度 720,000千円  
 ②慶應義塾引き出し額 2023年度 0円, 2024年度 86,064千円, 2025年度 486,653千円



■過去10年間の研究資金種類別推移 (間接経費・一般管理費込)(単位:千円) ※大学自己資金を含む

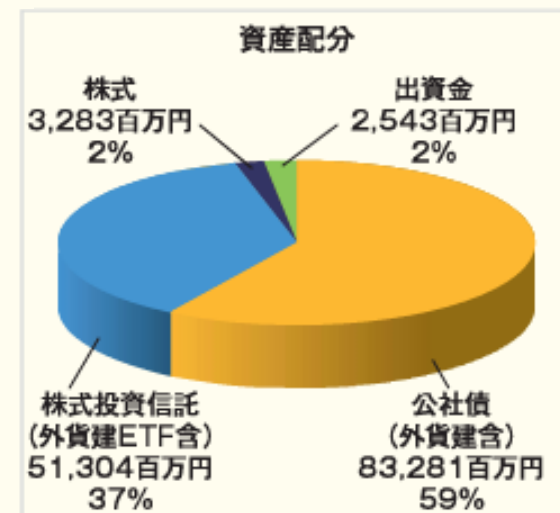




## 約1,400億円の運用資産

[単位：百万円]

|                 |         |      |
|-----------------|---------|------|
| 公社債（外貨建含）       | 83,281  | 59%  |
| 株式投資信託（外貨建ETF含） | 51,304  | 37%  |
| 株式              | 3,283   | 2%   |
| 出資金             | 2,543   | 2%   |
| 合計              | 140,411 | 100% |

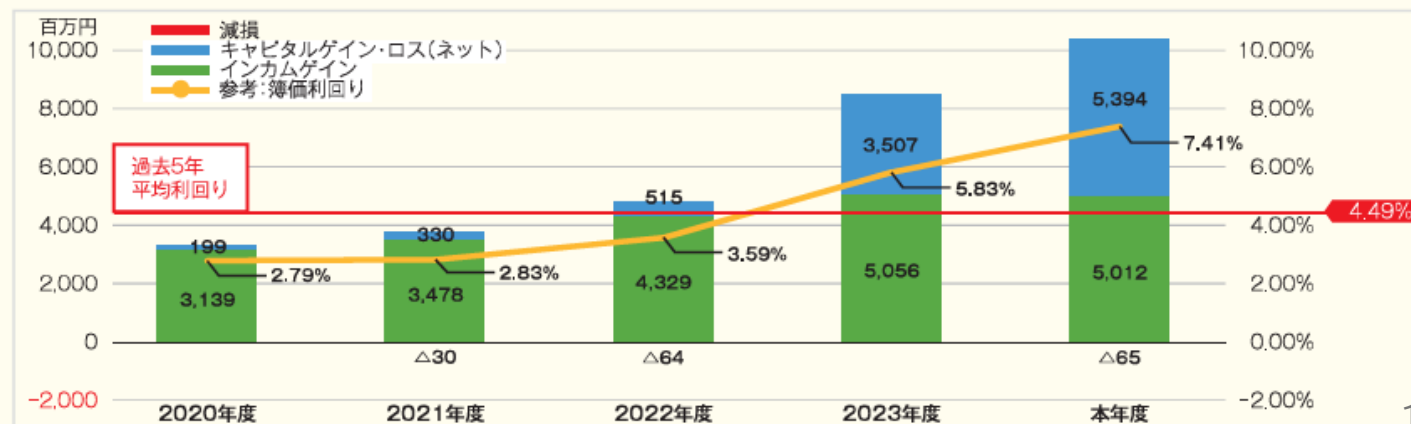


研究・教育・医療の発展と持続性に資することを念頭においた資産運用を通じて、大学経営を自走できる資金の確保

## 資金運用結果の推移

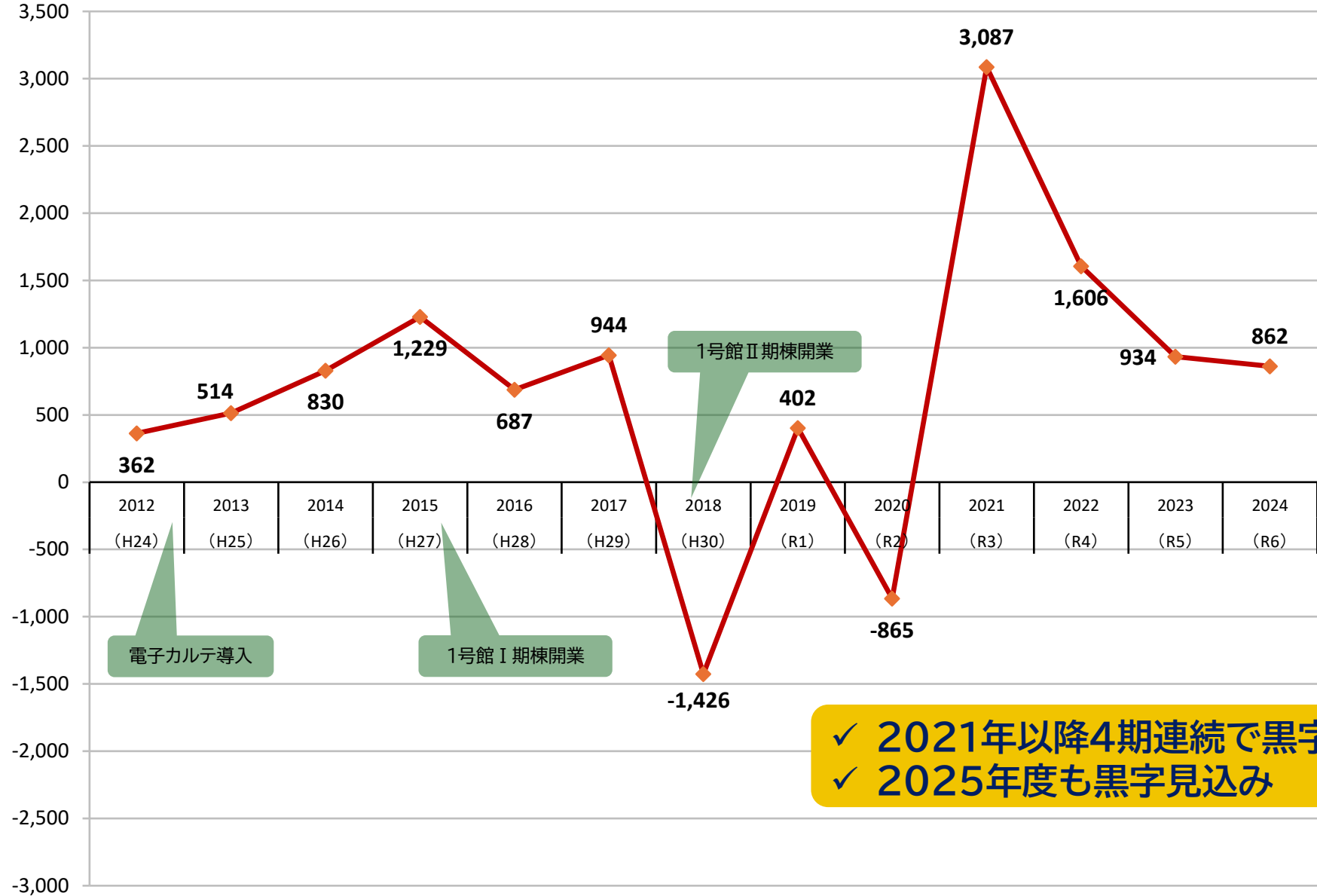
[単位：百万円]

| 区分               | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 本年度    |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| インカムゲイン          | 3,139  | 3,478  | 4,329  | 5,056  | 5,012  |
| キャピタルゲイン・ロス（ネット） | 199    | 330    | 515    | 3,507  | 5,394  |
| 合計（運用収入）         | 3,338  | 3,808  | 4,844  | 8,563  | 10,406 |
| 参考：簿価利回り=運用収入/簿価 | 2.79%  | 2.83%  | 3.59%  | 5.83%  | 7.41%  |
| 減損               | 0      | △30    | △64    | 0      | △65    |





(百万円) ■ 基本金組入前当年度収支差額推移



✓ 2021年以降4期連続で黒字達成  
 ✓ 2025年度も黒字見込み



## 慶應義塾内部統制システム整備の基本方針

### 慶應義塾監事監査規程

監事監査基準

補助職員

監事が補助する職員を求めた際は、独立した補助員を配置することができる。

**監事**

業務・財政・理事の  
執行状況を監査  
適法性、適正性、  
妥当性、合理性

選任・解任

監査

選任・解任

会計監査

**会計監査人**

計算書類等監査  
学校法人会計基準への準拠性

<三様監査による連携>

**評議員会**

**理事会**

**塾長**

**理事**



業務監査・経理監査  
方針どおりに業務が  
適正に行われているか

**業務監査室**

監査

業務監査室規程

危機管理・安全  
対策統括本部

R  
I  
S  
K

報告

各種内部  
通報窓口等

公益通報／ハラス  
メント／研究不正

通報

連携

**各部門**

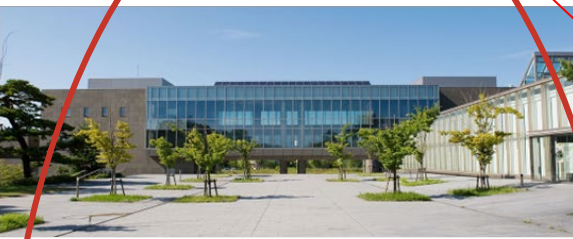
中期計画

## 慶應義塾規約

# タウンキャンパスによる研究推進と新産業創出



鶴岡タウンキャンパス  
先端生命科学研究所 (IAB)  
2001年開設



合成生物学・バイオ

創薬・先端医療

情報通信

量子

AI・半導体

新川崎タウンキャンパス  
2000年開設



|   |   |
|---|---|
| <p>慶應フotonics・リサーチ・インスティテュート<br/>Keio Photonics Research Institute</p> <p>所長 小池 康博 (慶應義塾大学 特任教授)</p>                              | <p>ハプティクス研究センター<br/>Haptics Research Center</p> <p>センター長 大西 公平 (慶應義塾大学 特任教授)<br/>野崎 良昭 (慶應義塾大学 理工学部教授)</p>  |
| <p>未来光ネットワークオープン研究センター<br/>Keio Future Photonics Network Open Lab</p> <p>センター長 山中 直明 (慶應義塾大学 特任教授)</p>                            | <p>超実践型人間環境化学社会実装プロジェクト<br/>Super Practical Human and Environmental Research enforcing Application and Social Implementation (SPRISSE) Project</p> <p>奥田 知明 (慶應義塾大学 理工学部教授)</p> |
| <p>スマートモビリティプロジェクト<br/>Smart Mobility Project</p> <p>大淵 亨 (慶應義塾大学 環境情報学部教授)</p>   | <p>脳と身体の神経コミュニケーションプロジェクト<br/>Neural Communication between the Brain and Body Project</p> <p>牛山 潤一 (慶應義塾大学 環境情報学部教授)</p>  |
| <p>量子・HPC 融合システム研究サテライト拠点形成プロジェクト<br/>Scalable base for researches on quantum HPC systems Project</p> <p>田中 宗 (慶應義塾大学 理工学部教授)</p> | <p>個人特定に繋がりにくい情報を活用しない人物状態推定技術の構築プロジェクト<br/>Human behavior estimation using information that less lead to personal identification Project</p> <p>五十川 麻理子 (慶應義塾大学 理工学部教授)</p>    |

- ◆ フォトニクス・リサーチ・インスティテュート (小池 康博 特任教授)
- ◆ ハプティクス研究センター (大西 公平 特任教授)
- ◆ 未来光ネットワークオープン研究センター (山中 直明 特任教授)
- ◆ 超実践型人間環境化学社会実装プロジェクト (奥田 知明 理工学部教授)
- ◆ スマートモビリティプロジェクト (大淵 亨 環境情報学部教授)
- ◆ 脳と身体の神経コミュニケーションプロジェクト (牛山 潤一 環境情報学部教授)
- ◆ 量子・HPC融合システム研究サテライト拠点形成プロジェクト (田中 宗 理工学部教授) 他

殿町タウンキャンパス  
2016年開設



Keio University  
Regenerative Medicine Research Center  
慶應義塾大学  
再生医療リサーチセンター

創薬・先端医療

合成生物学・バイオ



CREM  
TONOHANE

殿町・羽田再生医療拠点  
Cluster for Regenerative Medicine  
in Tonomachi Haneda

- ◆ 再生細胞医療等製品の原材料の安定供給体制、製造加工・品質評価基盤と社会実装に向けたバリューチェーンの構築
- ◆ 原材料・製品の品質特性や作用機序を明確化

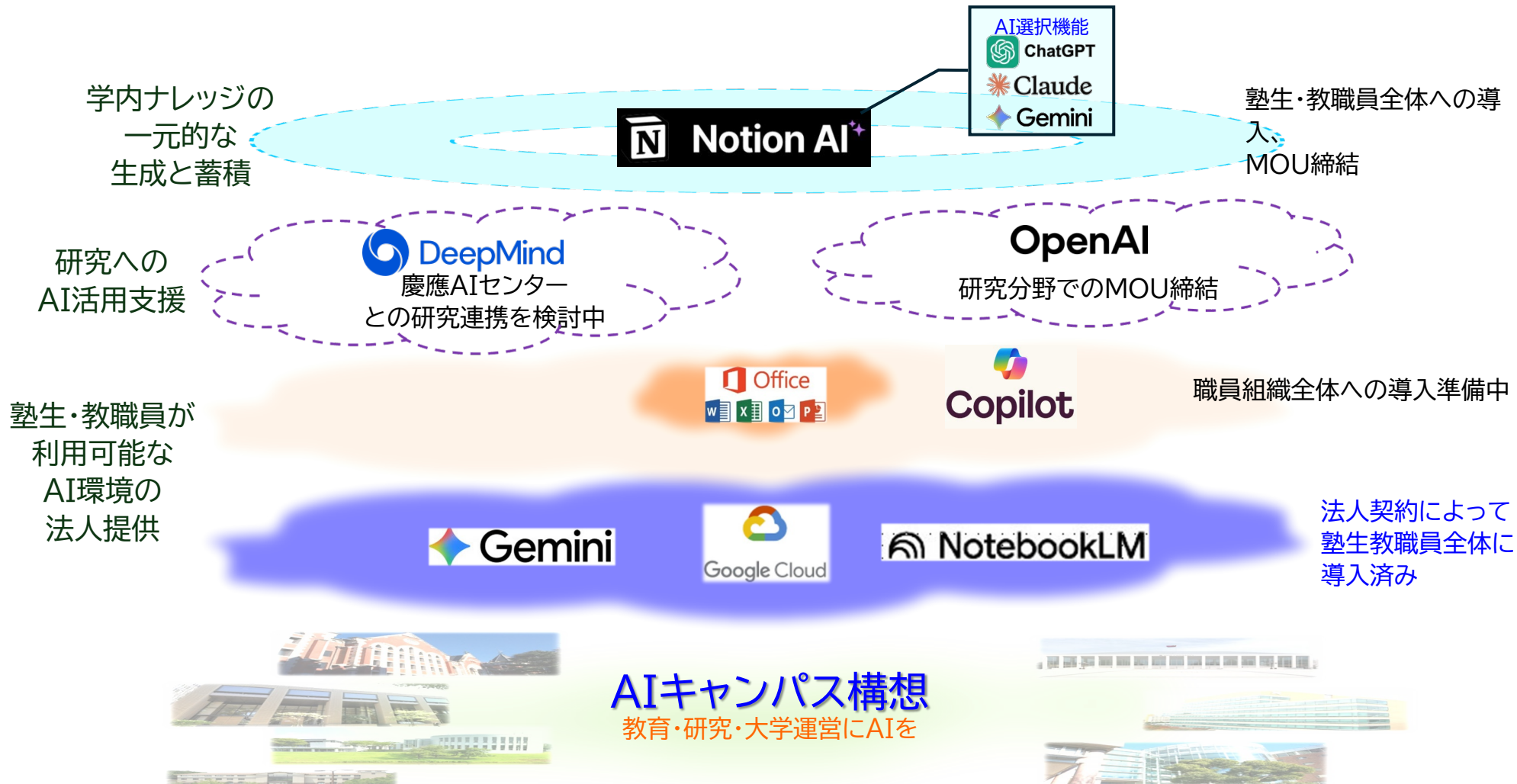
|                                      |             |            |
|--------------------------------------|-------------|------------|
| HMT<br>Human Metabolome Technologies | Saliva Tech | 東亜メテオ      |
| METCLA                               | HOLCURE     | INCENS     |
|                                      |             | FERMECUTES |

IABの研究成果に基づくスタートアップ企業

# 今後の目標 - AIキャンパス構想 -



## 世界トップのプラットフォーム企業との連携促進



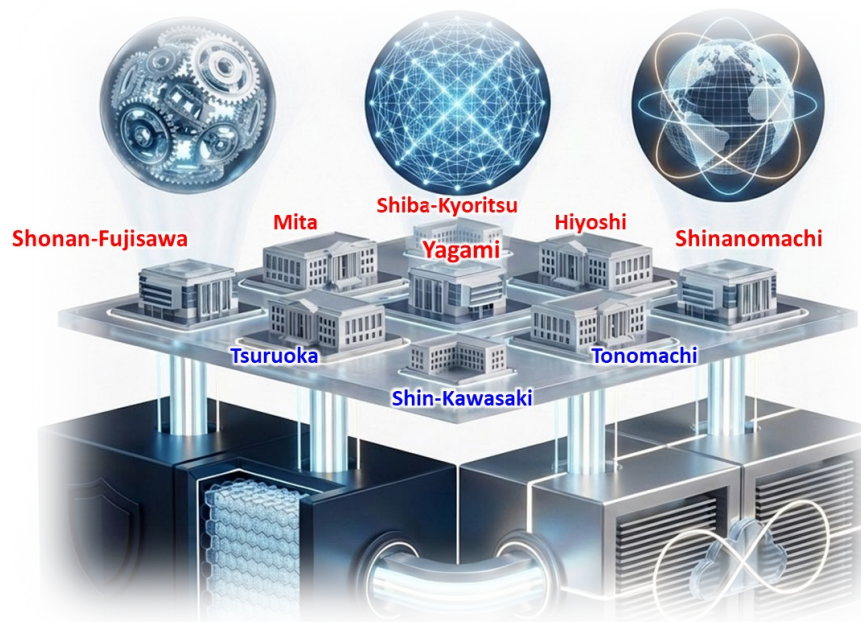


## ○ データ基盤の整備と計算資源の確保

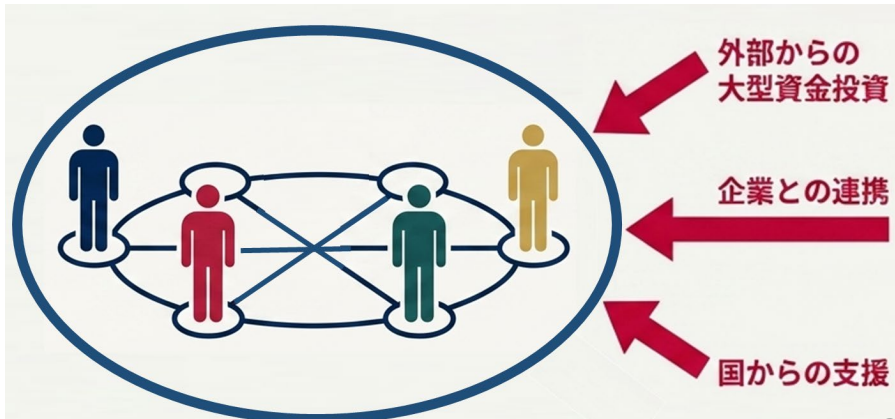
研究活動に不可欠なデータの蓄積・管理・共有を担う基盤と、それを高度に活用するための計算資源を、統合的に整備・提供する。

- ◆ 研究データを安全かつ効率的に取り扱うためのセキュアなデータ基盤の構築
- ◆ 大規模計算支援環境とクラウドを組み合わせた、柔軟で拡張性の高い計算資源の確保

6つのキャンパスおよび3つのタウンキャンパスを横断して一体的に利用可能な基盤を整備し、研究の高度化・大規模化・国際化に対応する全学的インフラを構築する。



## ○ 研究のユニット化: 研究者の有期的な結合の推進と可視化



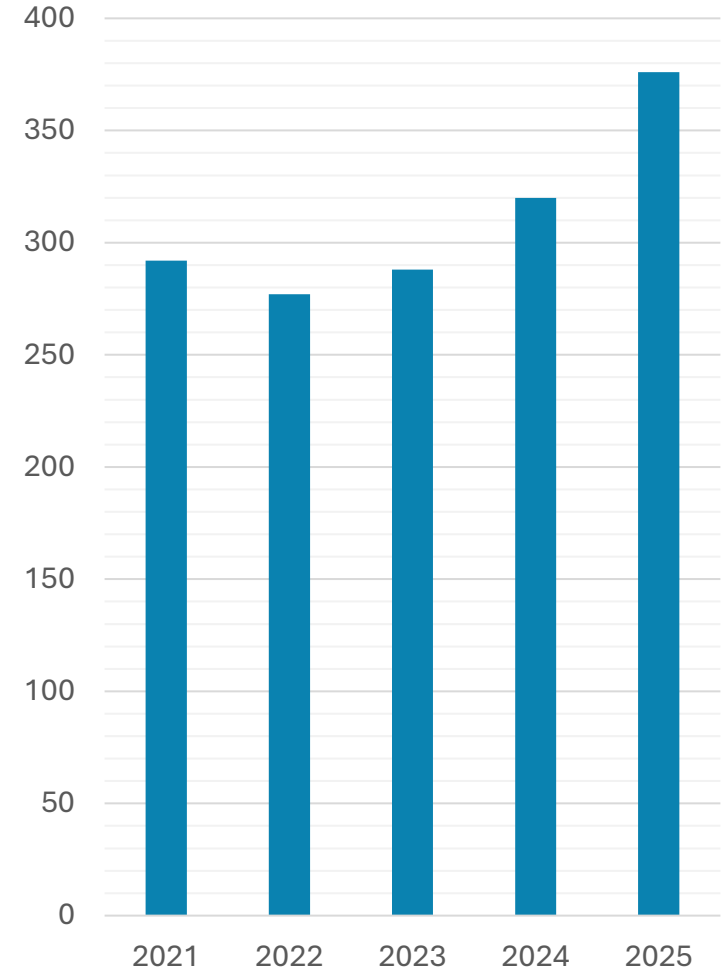
- 研究の高度化・複雑化に伴い、個々の研究者単位ではなく、研究者が分野を横断して有期的に結合する「研究ユニット」を基盤とした研究推進へと転換する
- ユニット単位での研究体制を明確化し、その活動を可視化する  
➔ 挑戦的かつ大規模な研究への組織的な取組を可能とする
- URA・技術職員等による専門的支援をユニット単位で提供する  
➔ 研究者が研究に専念できる環境を整備する



## 学生数・割合など

|  | 慶應義塾大学                           | 東京大学                              |
|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| <b>全学生数</b><br>*2023年5月1日時点                  | 34,251<br>学部：29,224<br>大学院：5,027 | 28,596<br>学部：13,995<br>大学院：14,601 |
| <b>外国人留学生数</b><br>*2023年5月1日時点               | 2,146<br>(7.0%)                  | 4,770<br>(16.7%)                  |
| 大学間交流協定に基づく<br><b>受入外国人留学生数</b><br>*2022年度通年 | 928<br>(2.7%)                    | 655<br>(2.3%)                     |
| 大学間交流協定に基づく<br><b>派遣日本人学生数</b><br>*2022年度通年  | 849<br>(2.5%)                    | 809<br>(2.8%)                     |

## 理工学研究科 博士課程 在学者数の推移



・外国人留学生は、在留資格が「留学」の者。  
 ・括弧内数値は、全学生数に占める割合。  
 出典：文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業令和5(2023)年度フォローアップ結果より  
[https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-sgu/data/follow-up/r5/sgu\\_r05FU\\_kekka.pdf](https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-sgu/data/follow-up/r5/sgu_r05FU_kekka.pdf)  
 東京大学外国人留学生数 / 早稲田大学外国人留学数  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400229029.pdf>, <https://www.waseda.jp/inst/cie/assets/uploads/2023/06/202305.jp.pdf>

# 人材育成による戦略分野への貢献





ご清聴ありがとうございました。